

# 提 言 書

三島市長 豊岡 武士 様

三島市にはしゃぎり・お祭りをはじめ、確固たるコミュニティが存在し、コミュニティの存在そのものが、三島市民の誇りの一つになっています。

近年、暮らし方が多様化する中、市民の一人ひとりが住みやすく居心地が良い住民満足度の高い街は、多様なコミュニティがあることだと言えます。

そこで、コミュニティが自発的に生まれやすくする街づくりを目指すため下記について提言いたします。

## ・コミュニティ創造手法「糸吉（いときち）」を三島市施策に取り組むこと

「どこでも」「誰でも」できる手段として考案した「糸吉（いときち）」は、三島市が求める市民のコミュニティ創造を高めるための手法に適しています。そのため、今後三島市で行うコミュニティ創造事業に「糸吉（いときち）」を実施していただくよう提言いたします。

実施に当たり、

1. 「糸吉（いときち）」の良さを分かっていたいただくため、三島商工会議所青年部が実施する「糸吉（いときち）」に市長はじめ市役所職員(20～40代の15～20人)にご参加をお願いします。
2. 効果を理解頂いた後、規模を拡大し、一般の方や近隣商工会議所青年部メンバーなど200人程度募集し実施する「糸吉（いときち）」の共催をお願いします。
3. 三島市まちなかりノベーション推進計画の指針にある「戦略14 新たなプレイヤーを生み出す仕組み・人づくり」に「糸吉(いときち)」をぜひ活用してください。

令和4年3月31日

三島商工会議所青年部  
令和3年度会長 矢岸 雅隆  
令和3年度総務委員会  
担当副会長 小野 大和  
委員長 杉橋 聡

## コミュニティ創造手法「糸吉（いときち）」について

三島商工会議所青年部は、郷土の発展と豊かな経済基盤を求め、三島市に更なる活力を与えるべく日々活動しております。

この度は「コミュニティの創造手法」を主題に置き、提言書を作成致しました。

現在、三島市には確固たるコミュニティが存在し、しゃぎり・お祭りをはじめ、町内会や市民活動の根幹になっています。これらのコミュニティの存在そのものが、三島市民の誇りの一つになっていることは三島市が2021年に策定しました、第5次三島市総合計画せせらぎと緑と活力あふれる幸せ実感都市・三島（副題：つながりを力に変える）にも記載されています。

既存のコミュニティが素晴らしい一方で、取りこぼされている人もいるのではないかと考えました。これらの取りこぼされた人を拾い集める手法ができれば、新しいコミュニティが自発的に沢山生まれてくる街になると思います。

そのような街はそれだけで全国に誇ることができる元気ある街に違いない、そのように私たち青年部は仮説を立てました。

そこで、私たちはコミュニティ創造手法を考え、この手法を「結ぶ、良縁をつなぐ」の意味を込めて「糸吉（いときち）」と名付けました。まだまだ立ち上げたばかりの手法ですが、当青年部で実施した中では手ごたえを感じています。

今回の提言書が三島市の経済的、文化的発展となり、ひいては市民の皆様が豊かな生活を送るための一助となれば幸いです。

### 【提言背景】

当青年部には三島市に来て間もない20代前半のメンバーがいます。彼はサラリーマンで大阪出身。初の勤務地を三島に任じられて三島市に来ました。三島市には縁もゆかりもない、どこにでもいそうな優しそうな男子です。勤務している会社からの勧めで当青年部に昨年入会しました。

そんな彼と三島市の課題を話し合っている中、彼から「友達がいなくて困っているが、既存コミュニティに入るのは抵抗がある」という悩み相談がありました。

おそらく、三島に来る、ビジネスパーソン、大学生、主婦などすべての新入市民が直面する共通の課題かと思えます。

プライベートがつまらないのでは、引きこもりがちになり、せっかく三島市にいるのに新しい交流は生まれず、このまま職場以外のコミュニティに触れずに引っ越してしまうかもしれません。これは三島市にとっては機会損失になると考えました。

我々は、この小さくも、しかし、おそらく大多数の新入市民が抱えていると思われる悩みに何かしらの回答を出してみることを今年の目標にしました。

### 【課題解決のための条件】

解決しなくてはならない問題点はコミュニティ参加への心理障壁の解消です。

例えば既存のサッカーサークルへの入会などをイメージすると「話が合わないのではないか」「古株の発言力の強いメンバーがいるかもしれない」「市の広報に乗っているようなサークル内容に興味を持てない」「趣味に対しての熱量が合わないのではないか」「一度入ったら抜けにくいのでは」などの心理がありそうです。

これらを解決するためには

- ・ 出入り自由でコミュニティの中身が簡単にわかる事
- ・ 新しくコミュニティが生まれる場に立ち会う事
- ・ 趣味はディープで細分化していて、沢山の種類から選ぶことができる事

これらを満たす必要があります。

以上の事からショーケース的にニッチな趣味の種類が沢山あり、その中から興味を引くコミュニティを出たり入ったり見学する事ができる、そんな会があったならば、気軽に興味のあるところに飛び込んでいけるのではないかと考えました。

つまり、

- ① ニッチな趣味をプレゼンしている人を同時に複数用意する。(部屋を分けてある)
- ② 各々の部屋に観客を配置する。
- ③ 観客が観ていて興味があれば、その新しいコミュニティに参加して良い。
- ④ 興味がなければ退出する。

これらを繰り返すことで、観客は興味のあるコミュニティの立ち上げに参加することができる。私たちはこのような手法を「結ぶ、良縁をつなぐ」の意味を込めて「糸吉 (いときち)」と名付けました。

### 【実験】

2021年11月、我々はこれを検証すべく、当青年部メンバーを対象として小規模に糸吉 (いときち) を開きました。

新型コロナウイルスの感染状況の広がり収まってきた時期とは言え、予断を許さない状況でしたので、聴講者の大半を ZOOM 参加とし、プレゼンターと運営スタッフだけが三島商工会議所に集まり、会を開きました。

(有) ストラテジックセキュリティ社員の平方氏がアイドルグループ「乃木坂46」の素晴らしさを語り、(株)山本食品の山本氏は敬愛する「ブルース・リー」の世界観について各 15 分程度語りました。(下写真参照)

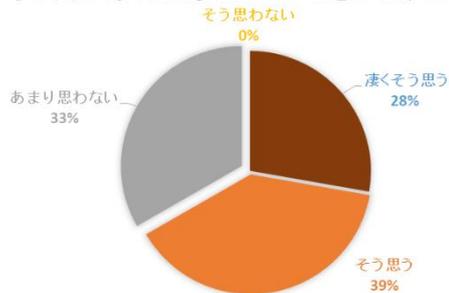


## 【実験検証】

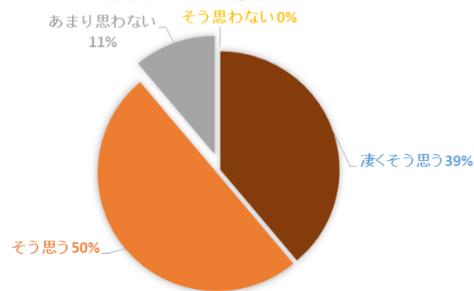
双方のテーマとも、聴講者の中に詳しいメンバーはいない位ニッチなテーマでしたが、聴講者からは「とても楽しかった」「趣味を通じてプレゼンターに親近感が沸いた」「もっと聞いてみたい」という肯定的な意見が多数聞かれました。

取得したアンケート結果にもそれが表れていて、特に、「この手法が仲間づくりに役に立つと思いますか？」の問いに対しては89%のメンバーが肯定的な意見でした。

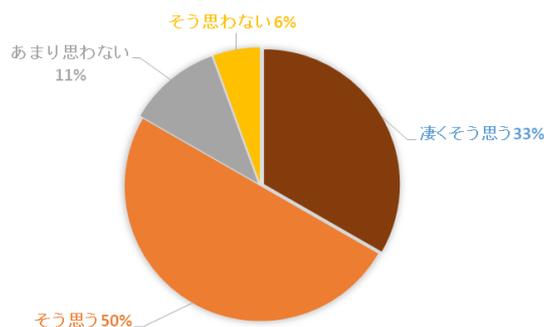
オフ会があったら参加したいと思いますか？



この手法が仲間づくりに役立つと思いますか？



今後このような活動があったら参加してみたいと思いますか？



今回は小規模な開催でしたので、テーマは2つだけでした。本当に興味がなかった人もいたと思います。しかし、このような肯定的な意見が多数聞かれたことは意味ある結果でした。ニッチなテーマを更に沢山用意することができれば、もっと満足度が高まるのではないかと考えています。

振り返るに、トランプ大統領のゴルフ外交をはじめ、世界的に趣味を通じての交流は一気に心の垣根を取り払うことは実証されています。ゴルフより更にニッチな趣味で共感できたなら、ぐっと距離は縮まり、その関係は堅固なものになるに違いありません。

今でも三島には沢山の民間コミュニティが存在しますが、社会的にも実力のある人が運営している組織がほとんどです。一方、「糸吉 (いときち)」は、まだまだ実験段階ですが、ごく普通の人でも趣味を通じてコミュニティを作っていけるフィールドになる可能性を秘めていると考えています。

将来的に、「なんだか三島にはコミュニティを作る仕組みがあるらしい」「三島に行くと友達ができるらしい」「三島では年に1回ディープなネタで盛り上がる会があるらしい」「そこでは仲間ができて楽しいらしい」「三島に住んだら寂しくない」

このような街を目指すため、提言に至りました。

## 【プロセス】

### ステップ1

現在、市長をはじめ三島市の皆様とは風会議(※)のような場や、懇談会でご一緒する機会が多くあります。しかし、オフィシャルな場では会話も限定的になり、関係性は深まっていきにくいと考えます。

もっとより三島商工会議所青年部のメンバーと仲良くなるために、我々のプログラム「糸吉 (いときち)」に市長はじめ市役所職員さまにご参加いただけませんか？

きっと凄く仲良くなれると思いますし、「糸吉 (イトキチ)」の良さを分かっただけだと思います。

### ステップ2

ステップ1で効果のほどがご理解いただいた場合、一般の方や近隣商工会議所青年部メンバー、近隣の市町村職員さまを200人程度募集して三島市で一緒に「糸吉 (いときち)」を行ってみませんか。三島商工会議所青年部で募集を掛けます。三島市の職員さまも参加いただければ幸いです。

### ステップ3

ステップ2で効果のほどがご理解いただいた場合、三島市の施策として、もっと幅広く「糸吉 (いときち)」を行ってみませんか。三島商工会議所青年部で幅広く募集を掛けます。

## ※風会議とは

地域を良くしようとする公務員の方々と、同じく地域を良くしようと行動する YEG メンバーとの情報交換の場です。

～ 結びに ～

商工会議所青年部の綱領には「新しい文化的創造をもって、豊かで住みよい郷土づくりに貢献する」とあります。

新たな創造、発想の転換を行いながら、今見えている多くの課題に真摯に向き合い、三島市の持つ歴史や豊富な資源を最大限に活かし、更に明るく豊かな地域の未来へと繋いで行くのが我々、当青年部の使命です。

本提言は新しい文化を三島に創造する事、に他なりません。

提言書を作成している中、豊岡市長が serendipity（素敵な偶然に出会ったり、予想外のものを発見すること）が三島市にはあり、それが魅力という事を PR しているという事を、人づてに聞きました。

我々、青年部が伸ばしていきたい部分、増やしていきたい事は奇しくも同じ事でした。私たちが本提言で行いたいことは serendipity を継続的に、複数回、積極的に行う場を作っていくことです。

ただ、私たちだけでは文化を作るスピードは非常に遅く、三島市の力を借りていく必要があると感じ、本提言に至りました。

今回の提言が三島市の経済的、文化的発展となり、市民の皆様が豊かな生活を送るための一助となれば幸いです。